

谷口富裕原子力発電技術機構専務理事の
国際原子力機関（ＩＡＥＡ）事務次長内定

平成１３年６月１８日
外務省科学原子力課

６月１１日から１５日までウィーンにて開催された国際原子力機関（ＩＡＥＡ）の理事会において、モハメッド・エルバラダイＩＡＥＡ事務局長が、原子力安全担当の事務次長に谷口富裕原子力発電技術機構専務理事を任命する意向を明らかにした。正式には、事務局の内部手続きを経て夏以降に任命される予定である。日本人のＩＡＥＡ事務次長ポスト就任としては３人目であり、原子力安全担当次長としては初めての任命である。

原子力安全担当の事務次長は、原子力施設の安全性、放射性廃棄物の処分等に関する国際的安全基準の作成、加盟国における原子力の安全性向上のためのミッション派遣等ＩＡＥＡにおける原子力安全分野の活動を統括する立場にあり、ＩＡＥＡの活動の３本柱の一つである原子力安全分野の責任者という重要ポストにあたる。

日本政府としては、谷口氏の原子力分野における広範な行政経験や国際機関における実績が高く評価された結果として、また、ＩＡＥＡにおいてわが国が果たしている役割に対する理解を反映したものとして、今回の任命内定を歓迎している。